

第1学年1組 国語科学習指導案

日 時：令和7年 11月21日（金）

場 所：1年1組教室（北舎1階）

授業者：

1 単元名

せつめいする 文しょうを よもう
せつめいする 文しょうを かこう

2 教材名

「じどう車くらべ」
「じどう車ずかんをつくろう」

3 単元目標

「しごと」「そのために」「つくり」という順序に気を付けながら、自動車のつくりの違いをまとめる活動を通して、説明の順序に気を付けた文章を書くことができる。

4 単元について

本単元は、「読む」領域と「書く」領域の複合単元である。ここでは分かりやすい説明の順序を理解し、重要な語や文を選び出せることを目指す。その上で、自分が説明したい事柄に必要な語や文を資料から正しく選び出し、順序に気を付けながら書く活動を行う。

・自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。

【B 書くこと(1)イ】

・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。

【C 読むこと(1)ア】

本教材は、問いの後に3つの答えが続く列挙型の説明文である。「しごと」と「つくり」の2つの問いに合わせて、答えの部分は2段落構成になっている。「しごと」はそれぞれの車が持ち合わせている固有のものを取り上げ、その車のよさを伝える文章である。また「そのために」でつながれて説明されている「つくり」は、どの車も持ち合わせたものではなく「しごと」の内容に合うものでなければならない。これらを踏まえたうえで、書く単元に繋げていく必要がある。

5 児童の実態

説明的な文章の教材として1学期は「つぼみ」、2学期は「うみのかくれんぼ」を学習し、事柄の順序を考えながら内容の大体を捉える学習を繰り返している。これまでは問いが一文であったが、本単元では初めて2文に分かれた構成になっている。

4月に比べ、自分の思いや意見を書くことができる児童が増えてきた。また、自分で説明したいものを選択する授業では、多くの児童が意欲的に活動に取り組むことができていた。物語文では登場人物の思いを豊かに考えられる児童が多い一方で、重要な言葉に着目して考えるこ

とについては個人差がみられる。本単元を通して、言葉の意味や言葉同士のつながりに十分着目させ、重要な語や文を選び出すことができるようにする。

5 研究にかかわって

研究内容Ⅰ つけたい力を明確にした単元構成の工夫

②単元の導入・終末の工夫

導入では、教師の紹介カードを例示し、自分の興味のある車の紹介カードを書く活動を単元のゴールに設定することで、児童の意欲を引き出す。

さらに、終末に学級全員で「わくわく じどう車ずかん」を作成し、互いに読み合ったり幼稚園児に読んでもらったりする活動を行うことによって、相手意識をもって紹介カードを作成することができるようにする。

研究内容Ⅱ 大切な言葉や表現効果に着目し、考えを深める指導方法の工夫

①目的に応じた的確に読むための指導援助の工夫

「しごと」と「つくり」の繋がりを正しく捉えることができるように、どうしてそのつくりを選んだのかということ問い返す。また、グループで話し合う際に動作化を行い、「しごと」に合う「つくり」を仲間と考えさせる。

②表現活動につながる支援の工夫

「つくり」を見つける活動では、ヒントカードを用いて個別最適な学びができるよう配慮する。また、構造的な板書によって「しごと」と「つくり」の順序が視覚的に理解できるようにし、接続詞「そのために」で繋げることを理解できるようにする。

研究内容Ⅲ 学びの高まりが実感できる、他教科他領域との関連の工夫

①既習内容を活用する場の設定

「そのために」という言葉を用いて分かりやすい説明の順序に置き換えることを、今後の生活科の授業で発表する場において活用できるようにする。また、重要な語や文を選び出すことによって、自分が一番伝えたいことを相手に伝えられることができるようにする。

6 単元指導計画

次	時	ねらい	主な学習活動	着目させたい 語句・表現	評価基準
第一 次	1	自動車には、それぞれ「しごと」と「つくり」があることに気付くことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「じどう車くらべ」を読んで、単元のゴールをつくろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「じどう車くらべ」の範読を聞き、「しごと」と「つくり」が書かれていることに気付く。 ・教師が提示したじどう車ずかんを見て、単元の見直しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・しごと ・つくり 	【主】 自分が好きな自動車の紹介カードをつくるための、見直しをもとうとしている。
じどう車の「つくり」と「しごと」の説明のしかたを学んで、『わくわく じどう車ずかん』を作ろう。					
第二 次	2	問いの文や3つの事例を確かめ、大まかな内容を捉えることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どんなことがかかっているか、たしかめながらよもう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・問いの文と自動車の事例の部分を囲み、流れを確認しながら音読をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・とい「～か。」 	【知・技】 問いの文と事例がどこに書かれているか理解している。
	3	バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を捉えることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">バスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」をまとめよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人をのせてはこぶ ・そのために ・ひろく ・大きなまど 	【知・技】 「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。
	4	トラックの「しごと」と「つくり」を捉えることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">トラックの「しごと」と「つくり」をまとめよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・トラックの「しごと」と「つくり」を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・にもつをはこぶ ・そのために ・ひろいにだい ・タイヤがたくさん 	【知・技】 「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。
	5	クレーン車の「しごと」と「つくり」を捉えることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">クレーン車の「しごと」と「つくり」をまとめよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・つり上げる ・そのために ・じょうぶなうで ・しっかりしたあし 	【知・技】 「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。
	6	「しごと」に合う「つくり」を選び、「そのために」という言の大切さに気付くことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「しごと」にぴったりな「つくり」をあてよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズを通して、「しごと」に合う正しい「つくり」を選ぶ練習をする。 ・「しごと」「そのために」「つくり」の順で説明することを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのために 	【知・技】 「しごと」に合わせた「つくり」を選ぶことの大切さを理解することができる。
	7 本時	はしご車の写真や映像、本から「しごと」と適切な「つくり」を見つけ、順序を考えて説明文を書くことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">はしご車の「しごと」と「つくり」をまとめよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・はしご車の「しごと」と「つくり」について話し合い、「そのために」を使って説明文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高いところ ・火を消す ・そのために ・のびる・ちぢむ ・ながいはしご ・水がでる 	【思・判・表】 はしご車の「しごと」に合わせた「つくり」を選び、正しい順序で説明文を書いている。
第三 次	8	自分の調べたい自動車の「しごと」について、情報を集めることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">わくわくじどう車の「しごと」についてしらべよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ車の「しごと」を本から読み取る。 		【思・判・表】 資料から、その車固有の「しごと」について書かれた部分を選んでみる。
	9	自分の調べたい自動車の「つくり」について情報を集め、「しごと」と「つくり」を結びつけることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">わくわくじどう車の「つくり」をまとめよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が調べた「しごと」をするためにどんな「つくり」になっているのか調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのために 	【思・判・表】 自分が調べた「しごと」と「つくり」が正しく関係している。
	10	「しごと」と「つくり」の順番を考えて、紹介カードを書くことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">わくわくじどう車ずかんをかこう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・そのために 	【思・判・表】 「そのために」を用いて、正しい順序で説明文を書いて

			・「しごと」「そのために」「つくり」の順番に気を付けて、カードを書く。		いる。
	11	仲間と紹介カードを読み合い、感想を伝え合うことができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> わくわくじどう車ずかんをよみあつて、すてきポイントをつたえあおう。 </div> ・自分が書いた自動車カードを仲間と読み合い、感想を伝え合う。		【主】 仲間と感想を伝え合いながら、自分の文章のよいところを見つけている。

他教科・他領域との関連指導

教科・領域等	学習活動, 身に着けた力を生かす場面等	評価基準・観点
生活科	秋の自然を活かしたおもちゃを作り, どのように作ったのかを伝える発表	【思・判・表】 相手に伝わりやすい順序で説明することができる。

7 本時の展開 (7/11)

(1) 本時の目標

はしご車の写真や映像, 本から「しごと」と「つくり」を見つかる活動を通して, 「しごと」に合わせた「つくり」を選ぶことの重要性に気づき, 「しごと」「そのために」「つくり」の順序に置き換えて説明文を書くことができる。
【思・判・表】

(2) 本時の展開

過程	児童の学習活動	指導・援助
つかむ	<p>1. 前時までを振り返る。 ・「じどう車くらべ」には, 「しごと」と「つくり」が書かれていた。 ・「しごと」と「つくり」をつなげるには, 「そのために」が大切だった。</p> <p>2. 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>はしご車の「しごと」と「つくり」をまとめて, しょうかいカードをつくろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物を用いて, これまでの大切なポイントを確認する。 ・単元を貫く課題を掲示することで, ゴールの姿をイメージして, 本時の課題に向かうようにする。
ふかめる	<p>3. 「しごと」を全体で確認する。 ○はしご車は, どんな「しごと」をしているかな。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・長いはしご ・伸びたり縮んだりするはしご ・シャッター ・しっかりしたあし ・人が乗れるかご ・はしごを操作する人が乗る席 ・赤い ・大きな六つのタイヤ </div> <div style="text-align: center; width: 10%;"> <p>はしご車のつくり</p>  <p>そのために</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・高いところにいる人を助ける。 ・高いところに逃げ遅れた人を助ける。 ・高いところの火を消す。 </div> </div> <p>4. はしご車の「つくり」をイラストから読み取る。(個人追及) ○はしご車は, どんな「つくり」をしているかな。 ・バスの時と同じで, 大きな窓があります。 ・バスの時と同じで, しっかりしたあしがあります。 ・クレーン車と違って, 人が乗る場所が三か所あります。 ・クレーン車と似ていて, のびたり動いたりするはしごがあります。 ・これまでの車と違って, シャッターがあります。</p> <p>5. はしご車の「しごと」と「つくり」を結びつける。 (グループ交流→全体交流) ○はしご車の「しごと」に合った「つくり」はどれだと思いますか。 ・高いところに行くには, はしごが必要になるよ。 ・「高いところに」だから, 腕をぐーんとのばすよ。 ・はしごだけじゃなくて, しっかりしたあしがないと, 倒れちゃうね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はしご車の DVD を見せ, どんな「しごと」をしているのか確認する。(教科書動画を音声なしで見ると確認をする。) ・「高いところ」というキーワードから, 消防車との違いを明らかにする。 ・ロイロノートを用いてはしご車のイラストを送り, 「つくり」に注目させる。【研究内容Ⅱ—①】 ・途中でヒントカードを送り, 各々が理解度に合わせた進捗で, 「つくり」を読み取れるようにする。 ・プリントに箇条書きで書かせる。 ・話す時は, これまでに学習した車と比較しながらはしご車の「つくり」を話す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・○○と同じで ・○○と似ていて</p> <p>・○○と違って</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・本時は, 「高いところ」というキーワードに合った「つくり」を考えさせる。 ・グループで動作化しながら, どのつくりが適しているかを考えさせる。【研究内容Ⅱ—②】 <p>◎切り返し・深めの発言 どうしてその「つくり」を選んだのかな?</p>
まとめる	<p>6. 紹介カードを書く。 ・「しごと」「そのために」「つくり」の順に気を付けながら, 紹介カードを書く。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>はしご車は, (高いところ) でにげおくれた人をたすけるしごとをしています。</p> <p>【そのために】, (長いはしごがあります。)</p> </div> <p>・次回は, 自分が好きな車について, 紹介カードを書こう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書き出すことができない児童には, 机間巡視したり呼び出し指導を行ったりして指導する。 ・ペアで「しごと」と「つくり」が繋がっているかを互いに確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>はしご車の「しごと」に合わせた「つくり」を選び, 正しい順序で説明文を書いている。</p> <p>【思・判・表】(発言・ノート)</p> </div>